



教科名：

新技術

2024年度

実習

一級自動車工学科

時期：

3年

後期

科目：

自動車整備作業

時限数：

32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	担当教員 変更の為	3/1	西浦
FY19	メンテナンス のため	3/1	西浦
FY20	メンテナンス のため	3/18	西浦、中 野
FY21	メンテナンス のため	3/31	西浦、森 田
FY22	メンテナンスのため	3/31	中野、合田
FY23	メンテナンスのため	3/31	西浦

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科		2024年度		授業計画		
時 期	3 年後期	単元	実習	教科名	新技術	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	一級自動車新技術		発行日	2019/3/1改訂 1
			一級シャシ電子制御装置			
※ 注1 総時限	32時限			教科担	西浦進一	※ ● ■
※ 注1 授業時間	51.2時間		当	小倉保徳	※ ● ■	
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は3880.0時間（50分ベース）を確保（法定合計時間3670時間（50分ベース））						
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として自動車整備全般の実務経験を基に自動車新技術に必要な整備を指導						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. 各種新技術の構造、機能、作動を確認し制御を理解する						
2. 各種新技術の点検方法を理解する						
3. CONSULT、サーキットテスター等を使用し、電子制御シャシシステムの電子部品の不具合箇所を特定できる						
4. コンサルト、オシロ・スコープ等を使用し、電制ディーゼルの点検、不具合箇所の特定ができる						
T S 2 級技術要件 No.5：電制ディーゼルの不具合箇所の特定						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
1. 各種新技術の構造、機能、作動を確認し、教科書の内容を理解する						
2. 各種新技術の点検方法を理解し、実車で点検ができるようにする						
3. 各種新技術の故障診断を実施し、不具合系統の絞込み、不具合箇所の特定ができる						
4. F A S T の部品検索が規定時間内に出来るようになる						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
実習評価点は、技術評価点（70点）+レポート評価点（15点）+取組評価点（170点以上を合格とする						
技術評価点						
実技試験 100%						
① 電子制御ユニットの外部診断機による点検						
② 外部診断機による電子制御ディーゼルエンジンの基本点検						
5. 準備学習						
自動車新技術、シャシ電子制御装置の該当箇所を読んでおく						
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す						
※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
6. 指導目標						
1. 各種新技術の構造、機能、作動を確認し、教科書の内容を身に付けさせる						
2. 各種新技術の点検方法を理解させる						
3. 各種新技術の故障診断を実施し、不具合系統の絞込み、不具合箇所の特定技法を身に付けさせる						
4. F A S T の部品検索がスムーズに出来るよう確認させる						

2024年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科		2024年度		授業計画	
時 期	後期	単元	実習	教科名	新技術
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	ドアの開閉	・閉める時は、ドア周りに手を添えないようにし、手を離さず最後まで添えて静かにドアを閉める		・勢いよく手を離して閉めたため他の学生の手を挟んだ	
2	リフトアップ	・アタッチメントを正しくセットし、周囲の状況を確認し、声かけを実施後リフトを操作する ・タイヤが10cmほど浮いた時点でタイヤ部分で車両を揺らしてしっかりとリフトに掛かっていることを確認する		・合図なしにリフトアップしたため周囲で作業を行っていた学生をヒヤリとさせた	
3	リフトダウン	・リフトの下に人がいないことを確認し周囲に声かけを実施後操作する。		・合図なしにリフトアップしたため周囲で作業を行っていた学生をヒヤリとさせた	
4	エアホース脱着	・エアホースの取り付け取り外しをおこなう場合はチャック部をしっかりと持ち両手でおこなう。		・エアホースの取り付け、取り外し作業中にホースのチャック部がエアの圧力で飛ばされてしまいそうになった。	
5	ミッション・ジャッキ取り扱い	・ジャッキ上のユニットのバランス確認		・上下時にユニットが落下しそうになりヒヤリとさせた	
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）					
実習場				座学教室	
第1実習場シャッター側（リフト5台分）を使用する					
NO7		No6			
NO15		NO14		NO13	